

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 1 市民主体の協働により、みんなで幸せを実感できるまちに ～地域経営の推進～
 重点的取組 3 地域における自治を築く

担当課名		自治振興部 地域政策課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	09	教育費
	項	05	社会教育費
	目	03	公民館費

事業名	公民館管理運営事業	事業開始年度	平成 23 年度
	実情に合った独自の地域づくりのための支援（市民センターの指定管理者制度の導入）	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市公民館条例、廿日市市公民館管理運営規則

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民センター利用者及び市民センター区域内の住民・団体	地域住民に身近な活動施設である市民センターの管理運営を住民自治組織自らが行うことで、実情に合った独自の地域づくりの推進や拠点施設としての機能を発揮させ、地域自治の確立を目指す。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	佐方アイラブ自治会	定期的な協議の場や情報共有を進め、協働して佐方市民センターの地域運営が円滑に行われるよう支援する。

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

H24年度H25年度

☆利用者人数37,45238,976

☆主催事業件数1316

◆事業計画達成状況（H26.3.31時点）

項目	達成状況
各種名簿(地域所管)の一元管理	アイラブ自治会内各局の名簿の一元管理はできているが、PTAや老人会など地区内の各種団体の名簿管理まではできていない。
地域主催事業関係資料の一元管理	徐々に進めているが、データや資料をセンターで集中管理させる利点不明确であるため、センターで管理すべきものを明確にする必要がでている。
地域人材バンクの設置	人材バンクの設置はできているが、当該制度を使いきれていない状況である。
センター事業と地域事業の共同化	情報の共有化と事務補助まではできているが、事業自体を共同で行うまでには至っていない。
町内会等の事務補助	町内会総会の案内文作成など少しずつではあるが取り組んでいる。
センターを活用した新たな地域事業の創出	センター職員の事務負担との関係があり、実施できていない。
受付時間の延長	平日の受付時間を19時までとして2時間延長を図った。

【歳出】指定管理委託料15,500,000円

コスト情報（円）

項目	平成24年度決算	平成25年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
直接事業費A	15,500,000	15,500,000		
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	借入金（市債）			
	その他(使用料など)			
	市（市税など）	15,500,000	15,500,000	
人件費（按分）B	1.00人 8,772,000	1.00人 8,486,000		
総事業費（A+B）	24,272,000	23,986,000		
単位 ト換算	①人口（4月1日現在）	118,000人		
	①市民1人当たり	206		
	②	204		

到達目標

活動及び成果指標	単位	H24実績値	H25目標値	H25実績値	H27目標値	備考
活動						
市民向け講座の年間開催件数(佐方市民センター)	回	13	15	16	16	H27目標値は、指定管理期間がH24～26年度のため、H26を目標値とする。
（※生涯学習事業のまとめ）						
佐方市民センターの利用者数の増加	人	37,452	33,400	38,976	35,400	
（※生涯学習事業のまとめ）						

H27目標値は、指定管理期間がH24～26年度のため、H26を目標値とする。